

久留米大学

医 学 科

(一般入試)

久留米大学

物 理 (全 2 の 1)

物理量は SI 国際単位系で表現してある。解答欄 [] 内には該当する単位を簡潔な形で記入すること。

- 1 図 1 のように水平面に対して角度 $\theta (< 90^\circ)$ をなしてなめらかな平面 P が置かれている。以下のすべての運動はこの面上で起きているものとする。面 P 上に水平線と平行に x 軸、これに垂直に y 軸を図 1 のようにとる。y 軸上の点 A より x 軸に平行に質量 M の物体 J を初速 V_0 で発射した。物体は面 P 上を運動し、点 B 直前で水平線とのなす角 60° の速さを持つようになった。B 点には質量 m の物体 K が重さの無視できる長さ R の糸に結び付けられて支えられている。糸の他端は O 点に固定されている。直線 OB は x 軸と角度 30° をなし、糸はたるみの無いように張られている。B 点で物体 J, K は完全非弾性衝突をした。その後物体は面上を運動し、最下端の点 C を通過後、糸をびんと張ったまま面上の点 D を通過した。点 D は直線 OC 上にあり、OD の距離は R である。以下の間に答えなさい。重力加速度は g で表すとする。

問 I 点 A から点 B までの移動に要した時間はいくらか。また、点 B 直前での物体 J の速さはいくらか。

問 II 衝突直後の物体の速さはいくらか。

問 III 最下点 C での物体の速さ V はいくらか。

問 IV 糸をたるませることなく物体が点 D を通過するための V の条件を求めなさい。 V_0 ではどのような条件となるか。

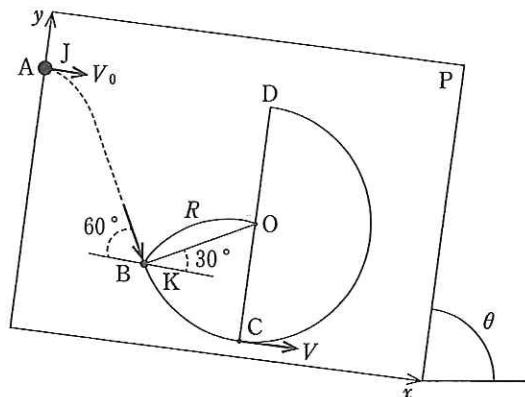


図 1

- 2 1 モルの单原子分子理想気体について以下の実験を行った。圧力 P_A 、体積 V_A である初めの状態 A から、以下の 4 つの過程を取り、体積 V_B を持つ状態 B、C および D に変化させた(図 2 参照、ただし、全ての状態、過程が表示されているわけではない)。

- 1) 定圧変化(b)で状態 A から状態 B へ
- 2) 等温変化(c)で状態 A から状態 C へ
- 3) 図 2 に示されるような過程(cc)で状態 A から状態 C へ
- 4) 断熱変化(d)で、状態 A から圧力 P_D の状態 D へ変化させた。以下の間に答えなさい。

問 I 定圧変化(b)で気体のした仕事はいくらか。気体の吸収した熱量はいくらか。状態 A から状態 B の変化で気体の内部エネルギーはどれだけ増加したか。

問 II 過程(c), (cc)で気体のされた仕事 $W(c)$, $W(cc)$ の正負、大小を記号($<$, $=$, $>$)で示しなさい。また、過程(cc)で内部エネルギーはどれだけ変化したか。

問 III 断熱変化(d)で、気体の吸収した熱量はどれだけか。また、気体のした仕事はどれだけか。

問 IV $V_A = 67.2 \times 10^{-3} [\text{m}^3]$, $P_A = 1.01 \times 10^5 [\text{Pa}]$ および $V_B = 22.4 \times 10^{-3} [\text{m}^3]$ であるとき、状態 A, B の温度はいくらか。有効数字 3 術で答えなさい。解答欄中には、横軸に絶対温度、縦軸に体積をとったグラフが描いてある。状態 B を○で、状態 C を△で書き入れ、座標も記入しなさい。過程(b)と(c)を実線で書入れなさい。また、状態 D はおよそどこにあるか、□で示しなさい。簡単な説明も解答欄に書きなさい。

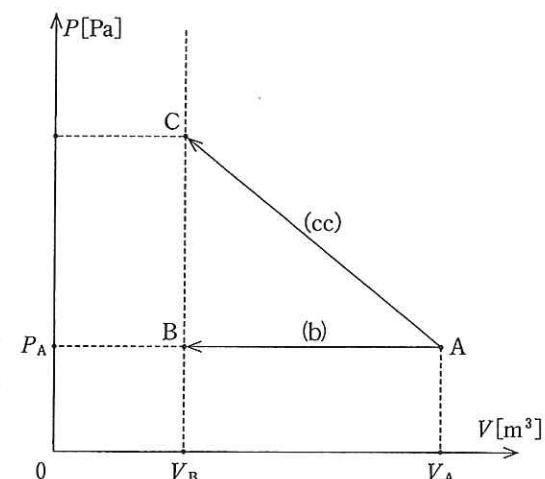


図 2

物 理 (全 2 の 2)

3 図 3-1 のように、一様な磁束密度 B [T] の磁界中に、一辺の長さ $2a$ [m] の正方形コイル PQRS がある。端子 X, Y は誘導起電力を取り出すための端子である。コイルの軸 O, O' は磁界に垂直で、それを軸として角速度 ω [rad/s] で回転している。図 3-2 は時刻 t [s] におけるコイルの位置を示している。コイルの抵抗は無視できるとして、以下の間に答えなさい。

問 I 辺 PQ の、磁界に垂直な速度成分はいくらか。

問 II 辺 PQ と辺 QR に生じる誘導起電力の大きさはそれぞれいくらか。

問 III 端子 X, Y に生じる誘導起電力の大きさはいくらか。その周期 T はいくらか。

問 IV 端子 X, Y に電気容量 C [F] のコンデンサーを接続した。コイルは角速度 ω [rad/s] で回転している。コンデンサーに加えられた交流電圧の最大値を V_0 [V] として、コンデンサーに流れる電流の大きさと消費される電力を正弦関数で求めよ。ここで、 $\Delta \sin \omega t \approx \omega \Delta t (\cos \omega t)$ をもちいて良い。また、時刻 $t = 0$ から T [s] までの電力のグラフを描きなさい。
横軸、縦軸の目盛りとその単位および極値の値も書き入れること。

問 V コイルを角速度 ω [rad/s] で回転させるために辺 PQ と辺 SR に外力が加えられている。その外力による偶力のモーメントの大きさはいくらか。

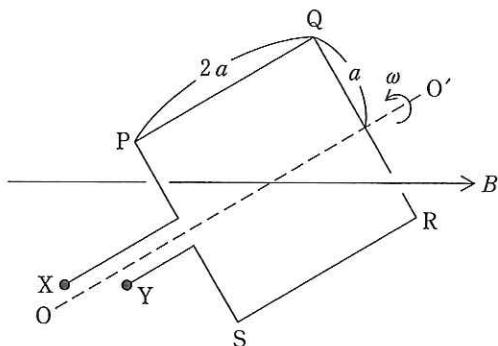


図 3-1

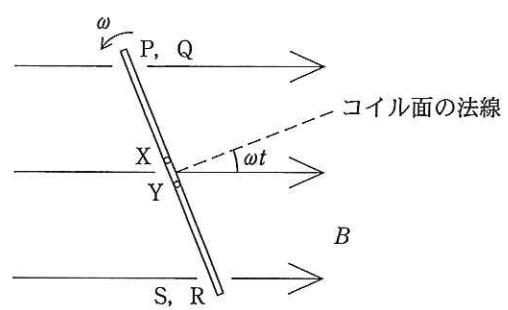


図 3-2